

令和6年度「地域の課題解決プロジェクト」実施報告書

主題「Challenge! いったれ!! あかがねプロジェクト Next Stage

～別子銅山・SDGsを紡いだ先人たちの知恵に学び行動するエージェンシー人材育成～

愛媛県立新居浜南高等学校

1 主題設定の理由

別子銅山は世界に誇る環境対策やイノベーションを行い、新居浜を自然と産業が調和した四国屈指の工業都市へと発展させてきた。先人たちが課題解決へ挑んだ闘いの足跡を学ぶことによって、SDGsにおける意識や態度を身に付けさせるとともに、持続的発展可能な地域づくりに向けてのエージェンシー（変革の主体者）の育成を目的とし、本主題を設定した。

2 事業計画

主な事業について項目を示す。

月	日	実施内容	実施学年、参加生徒数、教育活動における位置付け、関係団体・協力者等
4	18	産業社会と人間「遠足事前学習会」1年次生 113名	地域共創系列 7名
	25	マイントピア別子への遠足	1年次生 112名
5	26	4月子ども食堂	ボランティア 20名、卒業生 5名
	26	ESD中高連携事業「別子銅山を学ぼう！」船木中学校 登山事前学習会 1年生 66名	地域共創系列 7名
	1	ESD中高連携事業「別子銅山を学ぼう！」船木中学校登山学習ガイド 1年生 66名	地域共創系列・家庭クラブ・ユネスコ部 17名
	3	別子銅山・東平地区現地研修	ユネスコ部 4名
	4	別子銅山・旧別子地区現地研修	ユネスコ部 4名
	9	産業社会と人間「社会人講話」講師：新居浜市総合政策課「第六次新居浜市長期総合計画」「SDGs未来都市としての今後の取り組みについて」	1年次生 112名 新居浜市総合政策課
	17	5月子ども食堂	ボランティア 15名、卒業生 4名
	17	ESD中高連携事業「別子銅山を学ぼう！」北中学校 登山事前学習会 1年生 59名	地域共創系列 7名
	18	「銅山峰のツガザクラ群落」春季保護活動	ボランティア 12名、檀山会 9名、新居浜市役所 1名、卒業生 2名、愛媛新聞 1名
	23	にいはま学Ⅱ「マイントピア別子のプロジェクト開発について」講師：マイントピア別子（株）営業本部 永易舞氏（本校卒業生）	地域共創系列 7名 マイントピア別子
6	24	ライフスタディⅠ えんとつ山フィールドワーク	2年次生 117名 えんとつ山倶楽部 4名、愛媛新聞、ハートネットワーク
	25	別子銅山産業遺産 山・浜・島現地研修1日目（東平地区・端出場地区・四阪島）	ユネスコ部 2名、卒業生 1名、産業遺産国民会議、瀬戸内観光社
	26	別子銅山産業遺産 山・浜・島現地研修2日目（星越地区・日暮別邸記念館）	ユネスコ部 2名、産業遺産国民会議
	31	ESD中高連携事業「別子銅山を学ぼう！」西中学校 登山事前学習会 1年生 57名	ユネスコ部 3名
	5	地域共創講座①「別子銅山の歴史的意義」別子銅山記念館館長 神野和彦氏	地域共創系列 7名、PTA・地域住民 7名
	6	地域共創講座②「住友煙害の克服の歴史～受け継がれる先人の思い～」日暮別邸記念館副主任 山下佳苗氏	地域共創系列 7名、一般 6名
	12	地域共創講座③「広瀬・伊庭 明治の近代化」広瀬歴史記念館館長 竹林啓氏	地域共創系列 7名、一般 10名



7	15	ESD 中高連携事業「別子銅山を学ぼう！」北中学校 登山学習会 1年生 60名	地域共創系列 11名 地域共創系列 7名、一般 5名 ボランティア 10名、卒業生 1名 工業系列 10名 タステム、近藤工作所、 萩尾機械工業 地域共創系列 7名 地域共創系列 11名 ユネスコ部 3名、 新居浜ユネスコ協会 ボランティア 7名、卒業生 3名 ユネスコ部 4名、卒業生 3名 地域共創系列・ユネスコ部 11名、 学校評議員 1名、卒業生 1名 愛媛新聞、ハートネットワーク 地域共創系列・ユネスコ部 6名 新居浜市別子銅山文化遺産課 ユネスコ部 3名 新居浜市別子銅山文化遺産課 地域共創系列・家庭クラブ・ ユネスコ部 6名 初任者 16名、指導教員 9名 地域共創系列・ユネスコ部 10名 新居浜市別子銅山文化遺産課 地域共創系列・ユネスコ部 9名 新居浜市別子銅山文化遺産課 ユネスコ部 3名 新居浜市社会福祉協議会 地域共創系列・ユネスコ部 10名 新居浜市別子銅山文化遺産課 ユネスコ部 2名、 新居浜ユネスコ協会 愛媛新聞社 ユネスコ部 2名、卒業生 2名 石見銀山ガイドの会 ボランティア 27名 地域共創系列・ユネスコ部 11名 JICA 四国、新居浜市国際交流協会 地域共創系列・ユネスコ部 12名、 国際教養系列 12名 JICA 四国、新居浜市国際交流協会 ボランティア 8名、卒業生 3名 ユネスコ部 2名 産業遺産国民会議 2名 地域共創系列 6名 ボランティア 13名、卒業生 3名
	19	地域共創講座④「別子銅山の近代化産業遺産の保存・活用について」 新居浜市別子銅山文化遺産課 伊藤広大氏	
	28	6月子ども食堂	
	1	イッたらバ！ものづくりゲンバ体験実習Ⅰ期（7/1～7/5）	
	5	ESD 中高連携事業「別子銅山を学ぼう！」角野中学校 登山学習ガイド 3年生 96名	
	10	ESD 中高連携事業「別子銅山を学ぼう！」北中学校 登山学習会ガイド 1年生 60名	
	13	新居浜ユネスコ寄席（新居浜商工会議所）160名	
	19	7月子ども食堂	
	19	令和6年度愛媛県市町教育委員会連合総会 記念講演	
	24	第1回全国金銀銅中高生サミット（オンライン） [各校活動取組発表、各自治体の活動紹介] 佐渡県立佐渡中等教育学校、佐渡市役所観光振興部世界遺産推進課 栃木県立日光明峰高等学校、日光市教育委員会事務局文化財課 島根県立邇摩高等学校、大田市役所教育部石見銀山課 本校、新居浜市別子銅山文化遺産課	
25	別子銅山産業遺産創造塾①		
26	別子銅山産業遺産創造塾②		
29	令和6年度愛媛県立学校初任者研修地域理解研修 別子銅山登山		
8	1	別子銅山産業遺産創造塾③	
	2	別子銅山産業遺産創造塾④	
	7	「別子銅山を学ぼう！」出前講座（新居浜市シニア交流センター上部）	
	8	別子銅山産業遺産創造塾⑤（認定審査）10名全員認定	
	10	「平和の鐘を鳴らそう」（イオンモール新居浜）	
	10	世界文化遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」（島根県）現地研修 （8/10～8/12）	
	21	オープンスクール「南高の日2024」中学生 224名、保護者 38名	
	22	JICA地域理解研修1日目（学校、マイントピア別子） [活動紹介、マイントピア別子端出場地区観光ガイド] 研修生 11か国・12名参加	
	23	JICA地域理解研修2日目（新居浜市庁舎） [銅の折り鶴づくり交流、意見交換会] 研修生 11か国・12名参加	
	23	8月子ども食堂	
26	産業遺産国民会議「リキッドギャラクシー別子」の打合せ		
9	19	ESD 中高連携事業「別子銅山を学ぼう！」泉川中学校登山事前学習 1年生 89名	
	20	9月子ども食堂	



	27	ライフスタディ I 「SDGsの視点で考える気候変動～“わかっている”から“貢献できる”へ～」	2年次生 117名 愛媛県地球温暖化防止活動推進センター1名 SDGs 新居浜KITE3名
10	4	ESD 小高連携事業角野小学校みのりタイム「角野タイムトラベル①」小学4年生 95名	地域共創系列 7名
	11	旧広瀬邸の見どころ紹介番組ラジオ収録（あかがねミュージアム）	ユネスコ部 2名 あかがねミュージアム 2名
	12	「別子山の歴史と自然を学ぼう！」（旧別子地区） 小学校 4～6年生 27名、中学 1年生 1名、計 28名	ユネスコ部 2名 新居浜市社会福祉協議会 14名
	13	ESD 中高連携事業「別子銅山を学ぼう！」泉川中学校登山学習ガイド 1年生 89名	地域共創系列。ユネスコ部 3名
	16	令和 6 年度伝統文化体験集会（中筋太鼓台）	全校生徒 321名
	25	10 月子ども食堂	角野地区自治会等 ボランティア 16名、卒業生 3名
	26	新居浜市転入者ウェルカムツアー 21名参加	地域共創系列、ユネスコ部 10名
		あいテレビ修学旅行商品造成プロジェクト・キックオフ会 （新居浜商業高校）	ハートネットワーク あいテレビ、日本旅行 5名 新居浜商業高校 6名
	30	地域共創講座⑤「ベトナムの紹介」 新居浜市国際交流員 レー・ティ・フォン・クイ氏	ユネスコ部 2名 地域共創系列 8名 国際教養系列 13名
11	3	あいテレビ 魅 Can 部番組収録（マイントピア別子東平地区）	新居浜市地域コミュニティ課 2名 ユネスコ部 1名、あいテレビ 2名
	6	あいテレビ「新居浜市修学旅行商品造成プロジェクト」モニターツアー研修会①	ユネスコ部 1名、あいテレビ 2名 新居浜観光ガイドの会 3名
	6	地域共創講座⑥「外国人も安心して暮らせるまちづくり」 新居浜市国際交流協会 事務局長 土井美智子氏	地域共創系列 8名、地域 1名、 新居浜市地域コミュニティ課 2名
	9	「銅山峰のツガザクラ群落」秋保護活動	ボランティア 8名、 憧山会 7名、卒業生 1名
	12	建設現場の魅力体験学習（マイントピア別子端出場ゾーン）	工業系列 10名 新居浜市建設業協会
	13	地域共創講座「新居浜のものづくりの産業①」 新居浜ものづくり人材育成協会理事 三浦清孝氏 あいテレビ「新居浜市修学旅行商品造成プロジェクト」モニターツアー研修会②	地域共創系列 7名、一般 1名 ユネスコ部 2名、 あいテレビ 3名、日本旅行 1名 新居浜観光ガイドの会 3名
	15	11 月子ども食堂	ボランティア 12名、卒業生 1名
	19	ESD 小高連携事業角野小学校みのりタイム「角野タイムトラベル②」小学4年生 95名	地域共創系列 6名
	20	地域共創講座「新居浜のものづくりの産業②」 新居浜ものづくり人材育成協会理事 三浦清孝氏	地域共創系列 6名、一般 3名
	23	「日本ユネスコ運動全国大会 in 新居浜」400名余り参加 （リーガロイヤルホテル新居浜）	ユネスコ部 2名 新居浜ユネスコ協会
	29	あいテレビ「新居浜市修学旅行商品造成プロジェクト」モニターツアー研修会③	ユネスコ部 2名、 あいテレビ 1名、日本旅行 1名 新居浜観光ガイドの会 3名
12	4	創立 60 周年記念ウォークラリー（学校～日暮別邸記念館）	全校生徒 321名
	11	地域共創講座「新居浜のものづくりの産業③」 新居浜ものづくり人材育成協会理事 三浦清孝	地域共創系列 8名、一般 1名
	15	あいテレビ「新居浜市修学旅行商品造成プロジェクト」モニターツアー （マイントピア別子端出場地区）	ユネスコ部 2名、 新居浜商業高校 4名 愛媛大学附属高等学校 9名 あいテレビ 2名、日本旅行 2名



1	19	高校生といっしょに別子銅山を探検しよう！ in 角野 角野小学校6年生 93名	地域共創系列8名、ボランティア11名 角野公民館、ハートネットワーク ボランティア13名、卒業生2名 ユネスコ部3名 新居浜ロータリークラブ3名 地域共創系列5名、一般2名
		12 月子ども食堂	
	20	新居浜ロータリークラブ ガイドブック贈呈式 (本校)	
	25	伊東省司会長、真木正広・青年奉仕委員長 地域共創講座⑩「銅山峰のツガザクラ群落」	
	15	愛媛県総合科学博物館 川又明德氏	
	17	1 月子ども食堂	
	20	イッタレバ！ものづくりゲンバ体験実習Ⅱ期 (1/20～1/24)	
		地域共創講座「写真で見る いにはま今、昔」 新居浜おもちゃ図書館代表 松山明子氏	
	22	和6年度ライフスタディⅡ (課題探究) 等学習成果発表会 (本校)	
	29	地域共創講座「地域にある国際社会～グローバル人材を目指して～」 JICA 愛媛グローバル 大石紗己氏	
2	9	第33回新居浜グローバルパーティー (新居浜ウィメンズプラザ)	ボランティア12名、卒業生1名 工業系列10名、おべ工業、 四国竹林塗装工業、三好鉄工所 地域共創系列7名、一般4名 新居浜市 全校生徒321名 地域共創系列7名 国際教養系列12名、一般3名 ボランティア9名、 新居浜東高校1名、新居浜高専1名 地域共創系列7名、一般1名 新居浜市 あかがねミュージアム 地域共創系列8名、マイントピア別子 産業遺産情報センター (東京) あいテレビ
	13	地域共創講座「Hello! NEWってなんだろう」 新居浜市シティプロモーション推進課 課長 吉岡奈津子氏、副課長 守谷千恵氏	
	15	あかがねミュージアム「別子銅山をガイドする」展示 (2/15～4/20)	
	20	秋田県鹿角市立尾去沢中学校視察訪問 村木杏奈教諭	
	21	産業遺産国民会議協働プロジェクト「リキッドギャラクシー別子銅山」完成・公開	
	24	あいテレビ「新居浜市修学旅行商品造成プロジェクト」番組放送 (30分番組)	

3 実施内容



主な実施内容について報告する。

実施内容	E S D中高連携事業「別子銅山を学ぼう！」登山事前学習	 <p>出前授業全体の様子</p>
実施場所	新居浜市立西、北、泉川、船木、大生院、角野中学校	
参加生徒 (のべ数)	地域共創系列、家庭クラブ、ユネスコ部 1年次生 (3人)、2年 (0人)、3年 (34人)	
実施期間 (時 間)	4月26日 (金) ～9月19日 (木) (のべ12時間)	
成果、生徒 の感想等	<ul style="list-style-type: none"> 出前授業に行く前は、今まで訪問した中学校と同じように、興味をもってもらえるか、話を聞いてもらえるかなど、不安なことが多かったが、今回も中学生の皆さんが積極的に私たちの質問に対して応えてくれたり、私たちの方を見て、しっかり話を聞いてくれたりして、中学生のおかげでとても楽しい出前授業にできたと思う。私も達成感を味わうことができた。 出前授業を何度も経験したので、回数を重ねるごとに改善しているが、原稿に目が行ってしまいがちなので、なるべく中学生の方を見て話ができるよう、さらに、別子銅山の魅力を知ってもらいたいという気持ちも込めて伝えられるようにしていきたい。 	 <p>別子銅山の銅鉱石を回覧している様子</p>



実施内容	E S D中高連携事業「別子銅山を学ぼう！」登山学習ガイド	 <p>登山口での全体説明の様子</p>
実施場所	新居浜市立北、泉川、船木、角野中学校	
参加生徒 (のべ数)	地域共創系列、家庭クラブ、ユネスコ部 1年次生（5人）、2年次生（21人）、 3年次生（14人）	
実施期間 (時 間)	5月1日（水）～10月13日（日） (のべ24時間)	
成果、生徒の 感想等	<ul style="list-style-type: none"> ・一つの班を一人で任されるというプレッシャーがあったが、やり終えた後の充実感は大きかった。 ・中学生とのコミュニケーションが深まり、距離も近くなり楽しい機会となった。 ・やっぱり本物はすごいという実感を持つことができ、フィールドワークの大切さに身をもって知ることができた。 ・まだまだ知識不足のところがあり、もっと勉強しないといけないと感じた。 	 <p>山中でのガイドの様子</p>



実施内容	「銅山峰のツガザクラ群落」春季保護活動	 <p>憧山会の皆さんと共に</p>
実施場所	新居浜市別子山 銅山峰	
参加生徒	地域共創系列、ユネスコ委員、家庭クラブ、有志、ユネスコ部 1年次生（8人）、2年次生（2人） 3年次生（2人）	
実施期間 (時 間)	5月18日（土） (8時間)	
成果、生徒の 感想等	<ul style="list-style-type: none"> ・別子銅山の自然環境を体感できた ・ツガザクラへの関心が高まった。 ・地球温暖化や盗掘等による被害など、ツガザクラの厳しい状況を目の当たりすることで、SDGsを自分ごととして捉える機会となった。 ・ツガザクラの周知や多くの人の連携や協働が必要だと感じた。 ・卒業生の参加もあり、活動の広がりや持続可能な活動への期待も高まった。 	 <p>定点観測の様子</p>

実施内容	世界文化遺産 「石見銀山遺跡とその文化的景観」現地研修	 <p>石見銀山ガイドの安立聖氏、先輩と共に</p>  <p>世界遺産の石見銀山について説明を受けている</p>  <p>龍源寺間歩内での見学の様子</p>
実施場所	石見銀山（島根県大田市）	
参加生徒	ユネスコ部 1年次生（2人）	
実施期間 （時間）	令和6年8月10日（土）～8月12日（月） （3日間）	
成果、生徒の感想等	<ul style="list-style-type: none"> ・「先人達の思いを感じて、石見の知識を増やす」を目標に掲げて研修に挑みました。坑内での手掘りの跡などを見学して、当時の人たちが、この銀で町が発展してほしいという思いを強く感じる事ができた。 ・地域の人たちが私財を投じてまちの景観を大切に後世に引き継ぎたいという思いが伝わってきました。 ・石見銀山について理解が深まり、世界遺産になった理由が分かりました。 ・石見銀山ガイドの会の共同代表である安立聖氏のプロとしてのガイドからたくさんのお話を学ぶことができました。 ・現地研修で学んだことを自分たちのガイドの見直しに役立てたい。 ・卒業生も参加してくださり、活動へのアドバイスをいただくことができました。また、真剣に研修に取り組む姿や幅広い視野に素晴らしいと感じた。 	

実施内容	子ども食堂	 <p>子どもたちと交流の様子</p>  <p>在校生・卒業生ボランティア</p>
実施場所	新居浜子ども食堂中村松木店	
参加生徒 （のべ数）	1年次生（24人）、2年次生（2人）、 3年次生（46人）	
実施期間 （時間）	4月26日（金）～10月25日（金）毎月1回 （のべ28時間）	
成果、生徒の感想等	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども食堂は地域の人たちからの支援や協力により成り立っていることが分かった。 ・企画を考える際には季節に合った遊びや食事を提案することができた。 ・最初は、声を掛けても全然話してくれなかった子たちも、段々心を開いてくれて笑顔が自然と増えているように感じた。 	

実施内容	JICA地域理解研修プログラム	
実施場所	本校会議室、マイントピア別子端出場地区、新居浜市役所	
参加生徒	地域共創系列、国際教養系列、ユネスコ部 1年次生（2人）、2年次生（15人） 3年次生（6人）	
実施期間 (時間)	8月24日（木）～8月25日（金） (12:10～18:00) (10:30～13:00)	
成果、生徒の感想等	<ul style="list-style-type: none"> ・今回、初めて JICA 地域理解研修に参加しました。参加する前は外国の人と関わったことがなくて緊張していました。でも、参加してみると皆さん優しくとても楽しかったです。私は英語が苦手でちゃんとコミュニケーションをとることができるか心配だったけど、知ってる単語だけで頑張って話して伝わったり、話してる内容が分かったりすると楽しさが倍増しました。英語が分からなくてもジェスチャーをして伝わると嬉しかったです。 ・海外の人と関わってお互いの国の自慢できる場所を語り合うことがこんなにも楽しいんだと気付きました。 ・日本語ではなく英語でのガイドだったため、普段よりもより練習を積み重ね、別子銅山の魅力を留学生の方に知ってもらえるように準備に取り組んだ。 ・意見交換会では、留学生の方のプロジェクトの感想を一人一人お聞きして、不安だった前日のガイドの内容が、しっかりと伝わっていると分かり、別子銅山の魅力を伝えられたことに達成感を感じた。今回のプロジェクトに参加して本当に良かったと思う。 ・今回は英語検定2級を取得して、英語の勉強に力を入れていたため、前回よりうまくコミュニケーションを取ることができた。英語で話すことはまだまだ苦手だが、研修生の方が話している内容を聞き取れることが増えた。これからは英語の勉強を頑張りたいと思った。 ・前回よりも周りを見て行動することができたと思う。さらに、積極的に周りの人とコミュニケーションをとり連携をとることもできた。この研修を通して、留学生の皆さんに別子銅山について学んでいただくだけでなく、私たち高校生もさまざまな学びを得ることができたと思う。 	<p>活動報告の様子</p> 
		<p>観光ガイドの様子</p> 
		<p>銅の折り鶴づくり交流の様子</p> 
		<p>JICA研修員の皆さんと共に</p> 

実施内容	ライフスタディ I 「SDGs の視点で考える気候変動～ “わかっている” から “貢献できる” へ～	 <p>全体説明の様子</p>
実施場所	本校会議室	
参加生徒 (のべ数)	2 年次生 (117 人)、	
実施期間 (時 間)	9 月 27 日 (金) (のべ 2 時間)	
成果、生徒の 感想等	<ul style="list-style-type: none"> ・ SDGs について知っている子はあっても、こんなに考えることは初めてだったので、前より SDGs について考えるようになったと思います。 ・ SDGs を他人事ではなく、自分のこととしてできることをしていきたいと感じました。 ・ 自分で考えてみると、口で言うことは簡単だけど、それをどのようにして行動に移すのかと思うと、とても難しいことなんだと感じました。 ・ 持続可能な社会にするために一人ひとりの意識を変えていきたい。 ・ わかっているから貢献できる人になりたいと思いました。 	 <p>SDGs ワークシート作成の様子</p>

実施内容	地域共創講座 「新居浜のものづくり産業」(3 回シリーズ)	 <p>新居浜のものづくり人材育成協会 理事 三浦清孝氏 (元愛媛大学工学部教授)</p>
実施場所	本校会議室	
参加生徒 (のべ数)	2 年次生 (21 人)、	
実施期間 (時 間)	11 月 13 日 (水)、11 月 20 日 (水)、12 月 11 日 (水) (3 時間)	
成果、生徒の 感想等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新居浜のものづくり産業を学び、温故知新やイノベーションについて考え、体験講座にも参加したいと思った。 ・ 新居浜では 100 年以上前から、今の SDGs の考え方につながる環境対策に取り組んでいたことに驚きました。 ・ SDGs と関係している CSR なども学び、さらに多くの気づきがあった。 ・ 「別子銅山産業遺産創造塾」で別子銅山について学ぶことや「JICA 地域理解研修」、「全国中高生金銀銅サミット」などで交流を行うことも SDGs につながっていると分かり、私も取組に関わっていると感じることができた。 	 <p>講座の様子</p>

4 成果と今後の課題

本校では、地域の様々な団体にご支援ご協力を賜りながら活動を行っている。

最も大切なことは、「本物の体験」である。

人、もの、ことにおいて、可能な限り「本物の体験」を通して生徒たちは回を重ねるごとに大きな成長を見せてくれている。

自分の行動によって自分を含め周囲も何かが少し変わっていくことを実感していく。そのことで体験の大切さを知り、次の一步へと踏み出そうという行動力が生まれてくる。

その行動は、必ず誰かが見て支えてくれることも体験していく。

そのことが、自己有用感を育みアイデンティティの確立を導いていく。

その一つ一つの積み重ねが、本主題とするエージェンシー人材の育成につながっていくことを実感する。

最後に、昨年度から2年間にわたり本プロジェクトに関わった生徒の感想を紹介する。

別子銅山の専門的な方や、地域の方や、いろいろな方を講師でお招きして授業を受けるんですが、生徒だけじゃなくて、地域の方も一緒に受講できるんです。普通の授業とはちょっと違って、地域の方と触れ合える機会になってますね。

専門家の方の話はやっぱり、すごく記憶に残ります。私たちが学んで知ったことを話すのとは、やっぱり全然ちがうなって感じます。言葉に重みというか、現実味があるというか。

学んだことを元に、出前授業や登山ガイドなどをやっています。実際に山に登ると、それまで勉強してきたことが、すごく分かってくるというか。それまでは、文字の情報だったものが、現実として理解できるような、そんな感覚がありました。

私が思っている別子銅山の良さって、持続可能な取り組みだと思っているんです。鷲尾勘解治が、昭和通りや山根公園を作ったりした地方後策とか。伊庭貞剛や鈴木馬左也が煙害を無視しなかったこととか。山に植林したこととか。

今、社会にいろんな課題がある中で単に「人口の増加」や「経済の発展」を目指すべきではないって考えを持ってるんです。減少していつているものを、増やそうとしたり、経済の発展を促すことは、環境とか、どこかに悪影響が出てしまうので。人口減少に応じて、少しずつ縮小していくことも大事なのかなって。別子銅山を学んで、そんな風に考えるようになりました。

大学を卒業したら、ほぼ100%、こっちに戻ってくるつもりでいます。できれば、南高の教員として戻って来たいですね。

あかがねミュージアム「別子銅山をガイドする」展より引用

次年度は、新居浜市SDGs推進プラットフォーム（令和6年11月28日現在144団体）内にSDGsプラットフォーム分科会「地域の未来を共創！高校生×企業コラボプロジェクト」を創設し、特に3年次生の総合的な探究の時間「ライフスタディⅡ（課題探究）」において地域と協働した「地域の課題解決プロジェクト」を推進し、学びのすそ野を広げていく計画である。